

問1 ベトナム戦争で、北ベトナムが掲げていた、生産手段を社会全体で共有しようとする体制を何という？

1. 共産主義 2. 資本主義 3. 社会主義 4. 帝国主義

問2 1970年、日本で初めて国際博覧会として開催され、科学技術の進歩を世界に示すきっかけとなった出来事を何という？

1. 愛知万博 2. 大阪万博 3. つくば万博 4. 沖縄海洋博

問3 1949年に中華人民共和国を建国する際、敗れて台湾へ逃れた国民党の指導者は誰？

1. 蒋介石 2. 周恩来 3. 袁世凱 4. 孫文

問4 第四次中東戦争をきっかけに中東の産油国が原油価格を引き上げ、世界的な経済混乱を招いたのは何年？

1. 1971年 2. 1975年 3. 1974年 4. 1973年

問5 非核三原則の提唱や沖縄返還に尽力した功績により、日本で初めて受賞した国際的な賞を何という？

1. 朝日賞 2. 文化勲章 3. ノーベル平和賞 4. 毎日出版文化賞

問6 サンフランシスコ平和条約と同時に締結され、日本国内へのアメリカ軍の駐留を認めた条約を何という？

1. 日米共同宣言 2. 日米安全保障条約 3. 日米修好通商条約 4. 日米和親条約

問7 財閥解体において、解体の対象となった巨大企業集団の代表的な企業の一つで、現在は金融・商社などで有名な企業は？

1. 三井 2. 住友 3. 三菱 4. 安田

問8 1951年に日本が連合国側と結び、主権を回復するきっかけとなった講和条約を何という？

1. 日米安全保障条約 2. 日本国憲法 3. ポツダム宣言 4. サンフランシスコ平和条約

問9 第二次世界大戦後、サンフランシスコ平和条約で日本から切り離され、長らく施政権下に置かれた国はどこ？

1. ドイツ 2. オーストラリア 3. アメリカ 4. イギリス

問10 湯川秀樹の専門分野は何か？

1. 化学者 2. 物理学者 3. 生物学者 4. 天文学者

問11 第二次世界大戦後、アメリカを中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営が繰り広げた、直接的な武力衝突を伴わない対立状態を何という？

1. ベルリン封鎖 2. 第二次世界大戦 3. キューバ危機 4. 冷戦

問12 1950年代後半から1970年代初めにかけて続いた、日本の国民総生産が急激に伸びた時期のことを何という？

1. 高度経済成長 2. バブル経済 3. ゼロ成長 4. 安定成長

問13 1950年に勃発し、日本に特需景気をもたらした国際的な軍事衝突を何という？

1. 湾岸戦争 2. ベトナム戦争 3. 朝鮮戦争 4. 中東戦争

問14 1972年に佐藤栄作内閣によって実現した、アメリカの施政権下にあった地域の日本復帰を何という？

1. 日韓基本条約 2. 日米安全保障条約 3. 日中共同声明 4. 沖縄返還

問15 1954年の自衛隊発足当時、日本が国際社会へ復帰し、驚異的な経済発展を遂げた期間を何という？

1. 高度経済成長期 2. 安定成長期 3. 戦後復興期 4. バブル経済期

答え合わせ・解説

問1	答え 3 社会主義	ベトナム戦争は、この二つの陣営の対立が代理戦争の形で現れたものです。北ベトナムはソ連や中国の支援を受ける社会主義、南ベトナムはアメリカの支援を受ける資本主義の勢力として激しく争いました。
問2	答え 2 大阪万博	正式名称は日本万国博覧会で、世界中の国々が参加し、最新の技術や文化を紹介しました。多くの日本国民が来場し、科学技術に対する関心が高まりました。
問3	答え 1 蒋介石	蒋介石が率いる国民党は、毛沢東率いる共産党との国共内戦で劣勢に追い込まれました。結局、1949年に共産党に敗れた蒋介石は、政府を台湾へ移しました。以後、台湾で国民党による支配を継続しました。
問4	答え 4 1973年	1973年、第四次中東戦争が勃発すると、中東の産油国は原油価格を大幅に引き上げました。これにより「石油危機（オイルショック）」が発生し、日本を含む世界経済は大混乱に陥りました。ガソリンや灯油が不足し、物価が急激に上昇する「狂乱物価」と呼ばれる状態も生まれました。
問5	答え 3 ノーベル平和賞	佐藤栄作首相は、非核三原則を打ち出し、さらに当時アメリカの施政下にあった沖縄の返還交渉を成功させたことなどが高く評価され、1974年にノーベル平和賞を受賞しました。これは、日本人の受賞者としては初の平和賞でした。
問6	答え 2 日米安全保障条約	サンフランシスコ平和会議の直後に締結されたこの条約は、日本の領土内へのアメリカ軍駐留を法的に認めるものでした。これにより、日本は自国の防衛をアメリカに依存する一方で、基地を提供することで冷戦下のアジアにおけるアメリカの軍事戦略に組み込まれることとなりました。
問7	答え 1 三井	GHQは、これらの財閥が戦争遂行を経済面から支えたと判断し、解体しました。所有していた株を放出させ、企業集団としてのつながりを断つことで、公正な競争ができる市場経済を作ろうとしました。
問8	答え 4 サンフランシスコ平和条約	1951年にサンフランシスコで開催された会議で、日本はアメリカを中心とする連合国側と講和条約を結びました。これにより翌1952年に日本は主権を回復しました。ただし、ソ連などは条約に署名せず、領土問題などが後に持ち越される要因となりました。
問9	答え 3 アメリカ	沖縄はアメリカの施政権下で、戦略的拠点として大規模な軍事基地が建設されました。住民の意思とは無関係に統治される状態が長く続き、日本本土とは異なる政治・教育・経済状況に置かれました。この状態は「沖縄返還」が実現する1972年まで続きました。
問10	答え 2 物理学者	物理学者は、物質やエネルギーの法則を研究する科学者です。湯川秀樹は、目に見えないほど小さな世界である原子核の力を数学的に解明し、理論物理学の発展に多大な貢献をしました。
問11	答え 4 冷戦	冷戦は、軍事的な直接衝突を避けながら、兵器開発や宇宙開発、あるいは各国の政情への介入などを通じて行われた世界的な対立構造です。
問12	答え 1 高度経済成長	神武景気やいざなぎ景気など、長期間にわたる景気拡大が続き、家電製品や自動車の普及が急速に進みました。この驚異的な成長を「高度経済成長」と呼びます。
問13	答え 3 朝鮮戦争	日本に駐留していたアメリカ軍が、戦地へ送る軍需物資や修繕の依頼を日本の企業へ大量に出しました。これを「朝鮮特需」と呼び、日本の製造業やサービス業は大きな利益を上げました。
問14	答え 4 沖縄返還	佐藤栄作内閣は、アメリカとの粘り強い交渉を行い、1972年に沖縄の施政権を日本に戻すことに成功しました。これにより、沖縄は再び日本の行政下に入ることとなりました。
問15	答え 1 高度経済成長期	1955年頃から1973年の石油危機までの約20年間、国民総生産（GNP）が急増し、世界第2位の経済大国となりました。国民生活においても冷蔵庫・洗濯機・白黒テレビの「三種の神器」が普及しました。